

見つけた。未来を輝かせる、ふるさとの名品たち。



ふるさと名品
オブ・ザ・イヤー

「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」は、地域の将来を支える名品とその市場開拓を支援する表彰制度です。地域の魅力づくりを応援する民間企業が、各地域に眠る名品とそれを支えるストーリーや取組をそれぞれの視点で選び表彰。さまざまな切り口の部門賞が並ぶのが大きな特徴です。また、政府の後援も得て、地域の活性化を生みだしていきます。

2018年度

**ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会
2018年度 暫定事務局**

2018年7月2日

ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会の背景と目的

- ・地域の中には**日本全体ひいては海外にも通用する潜在力の高い名品やストーリー**がたくさん眠っている。
- ・**域外の消費者は、こうした未開拓の資源の存在をほとんど知る機会がなく、**また、地域の側もそのポテンシャルをどう伝えればいいのか、戸惑いがあるのが現状。
- ・地域の素晴らしさを域外の消費者に直接伝えようとする「**地域のあらたなチャレンジ**」をより多くの人に知ってもらうべく、意思を同じくする**民間企業が知恵と力を合わせて、**地域に眠る名品とその名品を支えるストーリーや取り組みを様々な角度から発掘する。
- ・政府の後援も得ながら積極的に表彰することで、地域の将来を支える名品とその市場開拓と“**地域のファン化**”を支援する。

<目的> ※ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会ガイドラインより

ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会は、地域の将来を支える名品の発掘、市場開拓、及びそれらを実現する人材や取組を支援することを目的とする。

ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会 4つの事業領域



公式サイト



表彰式

表彰制度

ふるさと名品オブ・ザ・イヤー



各種メディア報道



日本百貨店

CMC

セミナー 事業

コンサルティング 事業



地域商社協議会



千葉県勝浦市
地方創生フォーラム



香川県三豊市
うどんカンパニー

4つの事業の関係性

地方の地域創生事業、新たな商流づくりをサポート

1) 表彰事業



アウトプット支援

地域商社/DMOのリフトアップ

3) コンサルティング事業

ふるさと名品オブ・ザ・イヤー
サポートプログラム

地域商社/DMOスタートアップ支援

2) セミナー事業

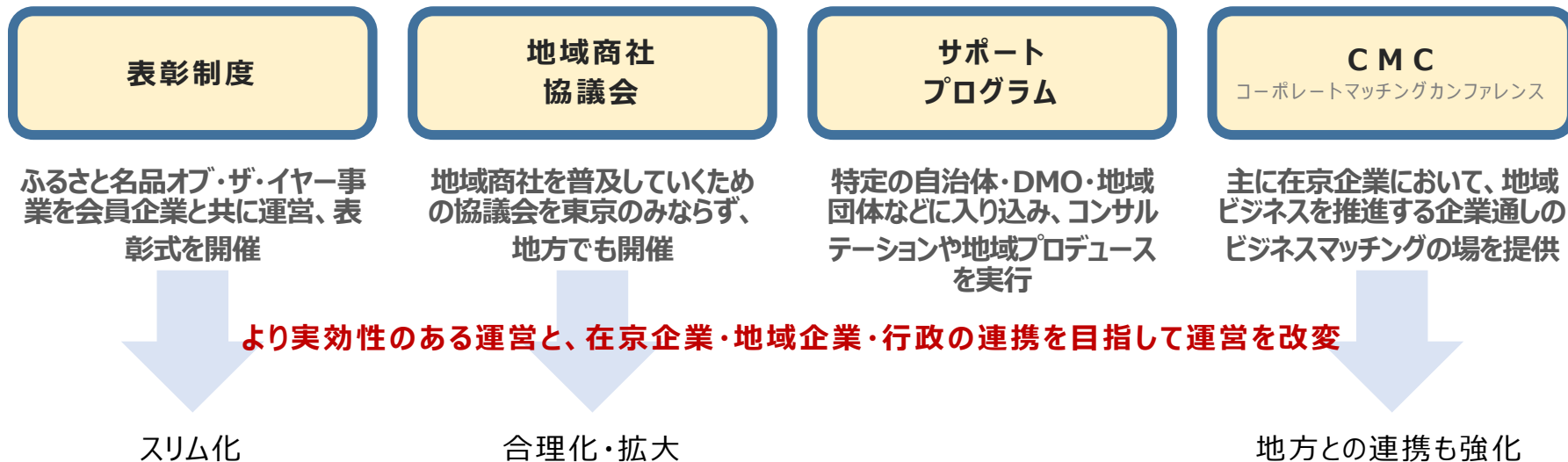
地域商社協議会

ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会
内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部事務局
農林水産省
経済産業省

4) CMC (コーポレートマッチングカンファレンス)

参加企業間のビジネスマッチングの推進で、地方創生をサポート

2017年度の事業内容と2018年度の主な変更点



● 主な変更点

- ✓ 部門賞の個別運営を見直し（撤廃）、地方創生担当大臣賞のみの形式に表彰制度をスリム化
- ✓ 部門賞の代わりに、地方創生事業（ソリューション）の紹介ページを設置
- ✓ ネットワークの場として地域商社協議会やCMCの有効活用を広く展開
- ✓ 参加形態・会費を見直し、より多くの企業や団体の参加が出来る形に

2018年度 事業内容 (案)

| 活動 | 開催数(年) | 内容 |
|----------------------|--------|--|
| ①CMC商談会の開催 | 8-10回 | <ul style="list-style-type: none">・ビジネスマッチング・商談会等 |
| ②地域商社協議会の開催 | 2回 | <ul style="list-style-type: none">・セミナー・プレゼン・商談会他 |
| ③ふるさと名品オブザイヤー表彰制度 | 1回 | <ul style="list-style-type: none">・1次、2次、最終審査で賞を決定・地方創生担当大臣賞の表彰・表彰式の開催 |
| ④サポートプログラム | 都度 | <ul style="list-style-type: none">・コンサルティング業務・その他受託業務等 |
| ⑤地方創生交付金関連の情報交換/意見交換 | 都度 | <ul style="list-style-type: none">・地域商社協議会や事務局会議での情報交換 |

会員企業の参加形態の変更

これまで、幹事社・会員企業・協力企業という参画形態であったが、事業や権利ごとに細分化した参画プランに変更。

～2017年度



幹事社
会費150万円
各事業の運営と幹事会運営など主な議決権
ふるさと名品オブ・ザ・イヤー部門賞を設け運営（最大5部門）



会員企業
会費30万円
ふるさと名品オブ・ザ・イヤーの部門賞を設け運営（1部門）



協力企業
会費なし、部門賞運営なし
実行委員会のメディア露出協力など



2018年度～



幹事社
会費150万円
各事業の運営と幹事会運営など主な議決権
ふるさと名品オブ・ザ・イヤーへの推薦（5名品）



会員企業
会費30万円
ふるさと名品オブ・ザ・イヤーへの推薦（1名品）



参加企業
会費10万円
ふるさと名品オブ・ザ・イヤーへの推薦（1名品）

会員参画プラン

| | CMC 参加権 | 協議会 ブース出展 orプレゼン | 2次審査 への 推薦枠 | 役職権利 | 2次審査 投票権 | 公式サイトでの 地方創生事業 紹介 |
|-------|------------|------------------------|-------------------|------|-------------|-------------------------|
| 150万円 | ○ | 優先順位① | 5名品 | ○ | ○ | ○ |
| 30万円 | ○ | 優先順位② | 1名品 | × | × | ○ |
| 10万円 | ○ | 優先順位③ | 1名品 | × | × | × |

参加メリット

これまでと変わらないメリット

- 地方創生担当大臣賞の表彰制度への参画
- 地方自治体や様々な企業との出会い・結びつき・新たな事業への挑戦

これまで以上のメリット

- 幹事社、会員企業各社の地方創生ソリューションをWebに掲載（部門賞の代わり）
- 内閣府から行う地方自治体への地方創生関連の説明会や連絡などでOTYの紹介
- CMCをはじめとする、地域ビジネスに関連する各プレイヤーとの距離が一層近くなる
- とくに大企業でなくとも、地域企業や個人でも最低10万円から参加企業になることが可能に

今後の予定

6月11日（月） 総会と参加企業募集開始

7月2日（月） 説明会 @内閣府 14：00～16：00

7月27日（金） 申し込み締め切り

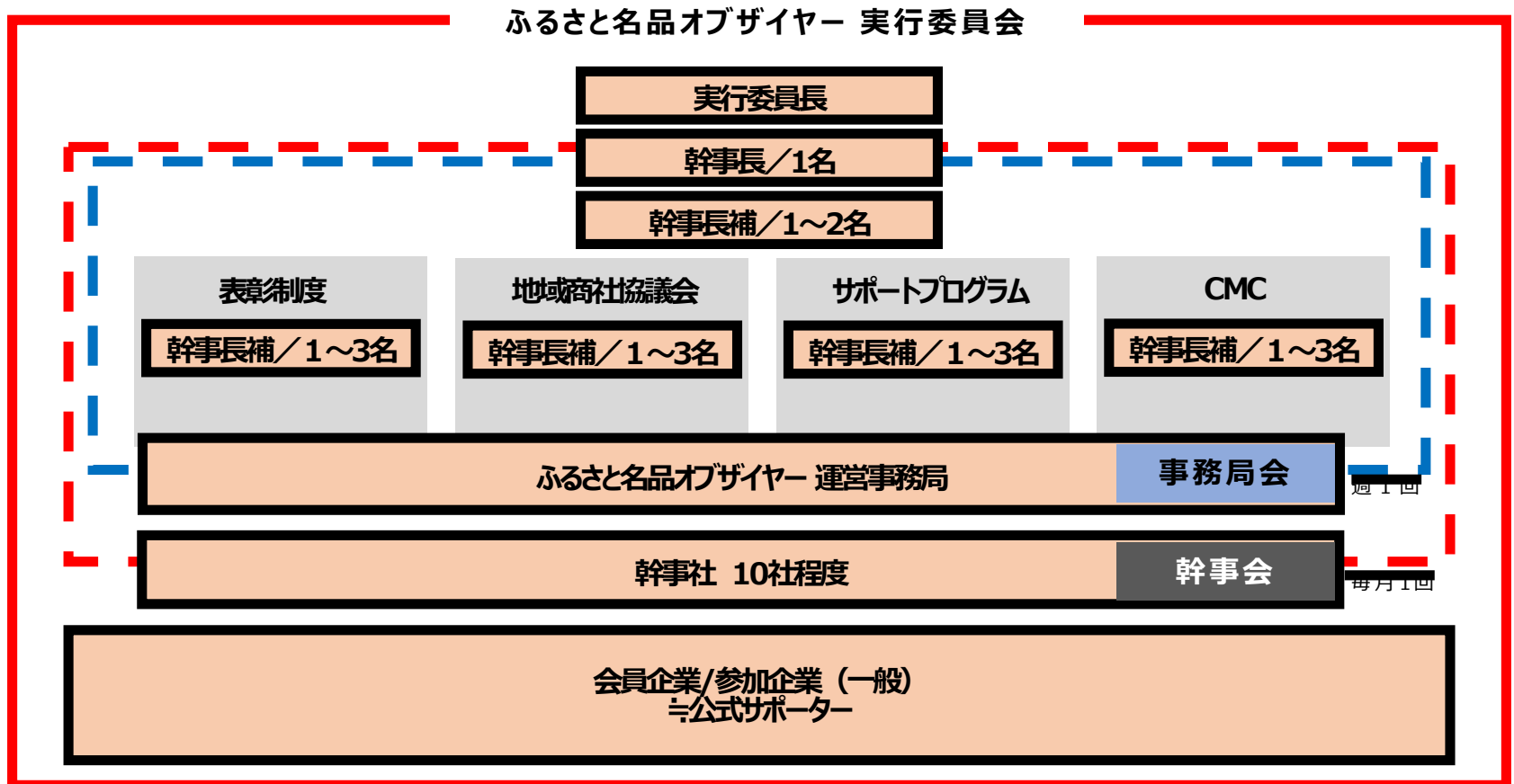
7月30日（月） 暫定幹事社会

8月6日（月） 2018年 総会

【ご参考】ふるさと名品オブ・ザ・イヤー実行委員会 運営ガイドライン
※一部ガイドラインの変更を行う予定

https://furusatomeihin.jp/file/guideline_2017.pdf

運営体制（案）



後援

内閣府
農林水産省
経済産業省

協力企業

※募集にて

オブザーバー

佐合 達矢 様
(内閣官房 まち・ひと・しごと創生本部
参事官)

見つけた。未来を輝かせる、ふるさとの名品たち。



ふるさと名品
オブ・ザ・イヤー

「ふるさと名品オブ・ザ・イヤー」は、地域の将来を支える名品とその市場開拓を支援する表彰制度です。地域の魅力づくりを応援する民間企業が、各地域に眠る名品とそれを支えるストーリーや取組をそれぞれの視点で選び表彰。さまざまな切り口の部門賞が並ぶのが大きな特徴です。また、政府の後援も得て、地域の活性化を生みだしていきます。

ふるさと名品オブ・ザ・イヤー事務局（JTb内）
E-Mail : furusatomeihin@itb.com

営業時間:月～金 9:15-17:45（土日祝休業）